

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-3	5-1-2	事業名	子どもの美術体験事業			
担当	観光文化局文化部市民文化課 渡邊 211-2261						
全体計画							
事業内容	小学校にアーティストを派遣したり、小学生を美術館に招待する等の様々なアプローチにより、次代を担う子ども達に美術体験をさせる事業。			<年度別の事業内容>			
				【平成20～22年度】 同内容で実施するが、規模を段階的に拡大していく予定。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
				<p>【ハロー！ミュージアム事業】 市内小学5年生を対象に、芸術の森美術館(野外美術館)へ招待し、文化芸術にふれ、学ぶ機会を提供する。学芸員による展覧会解説や美術館でのワークショップ、学校に出向いての事前レクチャーを実施する。 実施形態:財団法人札幌市芸術文化財団に対する補助金 実施場所:市内の小学校 実施規模:10校、1,000人(100人×10校)程度 その他:訪問校は教育委員会等、関係者と協力の上、公募等により決定。</p> <p>【おとどけアート事業】 小学校にアーティストを派遣し、短期間滞在させ、「アート体験」を子ども達に届ける事業。子ども達にアーティストと直接触れ合い、共に作品を制作する経験をさせることにより、子ども達の芸術的感性を育むことを目的とする。 実施形態:実行委員会(NPO法人S-AIRが中核)への補助金 実施場所:市内の小学校 実施回数:1回(2週間程度)</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
参加児童数(累計)		-	-	1,220人	2,300人	3,200人	3,200人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 当事業は、小学生を対象とした、市民参加型の事業である。 また、学校関係者、アート関係者と連携しながら事業を実施し、子どもたちに文化芸術に親しむ機会を提供している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 【ハロー！ミュージアム事業】 参加校について、教育委員会の協力を得ながら公募している。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-2-3	5-1-2		事業名	子どもの美術体験事業		
評価(成果)			課題				
			<p>【ハロー！ミュージアム事業】 参加校の交通費等経費の負担が大きく、地理的な条件で参加校が限られる。 参加児童数を増やすために、実施回数、スタッフ体制の整備等を検討する必要がある。</p> <p>【おとどけアート事業】 スタッフ体制の整備や企業協賛の獲得による財政面の安定化により、参加校を増やすための仕組みづくりを構築していく必要がある。</p>				
			<p>今後の事業の予定・方向</p> <p>同内容で実施予定であるが、規模を段階的に拡大していく予定。</p>				
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	700	1,350	1,950	4,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	700	1,350	1,950	4,000		
予算	事業費	0	2,000	-	-	2,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
一般財源	0	2,000			2,000		
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
一般財源	0				0		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				50.0%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] 当初の計画に位置付けられていた「おとどけアート」事業に「ハロー！ミュージアム」事業を追加した。							